

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：R5年 3月 27日

事業所名 重症児者多機能型デイサービスあすなろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	11	2	0		・広いスペースで活動出来ている。
	2	職員の配置数は適切である	8	2	3		・勤務実態のないスタッフが存在している。 ・看護師が多く医ケア対応ができていない。 ・職員の希望と施設の需要がアンバランス ・勤務時間により職員の業務負担の差が大きい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	11	1	0		・臥床からの抱き上げが困難な児童があり、ベッドがあると助 かると思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	6	5	2		・評価がされていない ・広く参画しているが全員ではない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8	4	1		・言ったもの勝ち ・保護者の意向をどのように把握し改善しているか周知が しっかりされていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	4	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	5	5		・外部評価について詳細不明。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4	6	3		・あっても行けないことが多い ・職員の資質の向上のための機会が不足している。 ・研修のお知らせは掲示されているが積極的な促しは無い。
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	3	2		・児発管が子ども、保護者の理解ができていないと感じる。 ・ミーティングで話し合い計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4	4	5		・どのようなツールを使用しているか不明。他事業所はどうし ているのか。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2	1		・チームで計画を立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	9	4	0		・天候や季節に応じた活動が出来るように工夫されている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	6	2		・どのように詳細を決めているか不明
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	8	2	3		・児発管が名前のみで計画作成を行っていない。 ・個の状態に合わせて計画を作成できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	2	4		・児発管が名前のみで計画作成を行っていない ・途中からシフト勤務の職員への打ち合わせや内容の周知 が難しい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	6		・時間が取れていない。 ・必要なことは個別で相談しているが全員での打ち合わせは送迎もあり難しい。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	2	0		・記録はしているが検証されていない。 ・記録は行えておりPDCAに役立てられている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	1	0		・予定表で管理をして行えている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	7	1		・いろいろな活動ができるよう考えられている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	2		・必要時適した人が参加できる体制が整えられている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	4	0		・連絡会の参加や送迎時に情報共有できている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	4	0		・MCSや電話などで必要時連絡している。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	4	2		
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4	1		・不明
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5	4		・埼玉県内の研究会での研修に参加している。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	10		・不明
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	10		・地域での会があるのか不明。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	4	0		・お便り帳、送迎時に行なえている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	6		・不明

関係機関や保護者との連携

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	5	0		・契約時に説明されている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	4	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	7		・イベント開催で交流できるようにできたらよい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	3	0		・ミーティングでの報告が迅速でよいと思った。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	5	3		・不明
	35	個人情報に十分注意している	8	2	1		・保護者との連絡は会社携帯、電話に絞るべき。 ・情報管理に対する法人、個人の考えが甘いと思う事がある。 ・書類は鍵付き書庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	3	1		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	6			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	6	0		・必要時確認できるよう周知し、アップデートできた方がよい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3	2		・いろいろなパターンを想定して行えると良い。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	4	1		・やっているが参加できていない
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2	0		・身体拘束はしていない。 ・スタッフに周知が不足している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2	0		・不明
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	0		・活用しきれていない。	